

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑮

高谷中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第15回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和5年11月25日(土) 10時00分～11時00分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校
- 3 委 員 ・ 大学教授(委員長)
・ 各学校(高谷中・信篤小・二俣小)の学校運営協議会代表(19名)
- 4 内 容 ・ 信篤三つ葉学園の成果と課題等の取りまとめの方向性についての協議
・ プロジェクト会議、教職員・児童生徒の取組の報告
- 5 説明事項及び協議内容

※ 市川市教育委員会の説明事項の概要は、「会議資料」をホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu20/1111000002.html>

協議 以下のことについて、市川市教育委員会からの説明の後、協議を行いました。

(1) 信篤三つ葉学園の成果と課題等のとりまとめの方向性について

① 信篤三つ葉学園のこれまでの取組について

・ 信篤三つ葉学園がスタートし2年目を迎え、小中連携、小学校同士の連携、3校合同の連携等の取組を実施してまいりました。信篤三つ葉学園の小中一貫教育のこれまでの取組が紹介されました。

② 信篤三つ葉学園の成果と課題等の取りまとめの概要について

・ 高谷中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画(以下「基本計画」)では、令和4年度から令和5年度までを小中一貫教育の取組の検証期間としており、令和6年度までに、小中一貫型小学校・中学校の成果と課題の整理をすることとしています。

・ このことに伴い、信篤三つ葉学園の成果と課題のとりまとめの概要(案)について、協議しました。

【協議の内容】(○:委員長及び委員 ●:事務局)

【信篤三つ葉学園のこれまでの取組について】

○はじめに、信篤三つ葉学園の小中一貫教育のこれまでの取組について、各自のお立場やご自身の実体験、子どもを通じての体験等、率直にご意見をお願いいたします。

○交流を進めるのは非常に良いことだと思います。普段通りの授業を行うことも良いと思いますが、異なる世界を見せてあげることも大事です。そこで刺激になることがあれば、やる気につながりますので、交流は推進していただきたいです。

○6年生が中学校に進学した後の姿を見ると、乗り入れ授業や学校間の交流活動の取り組みに関わった子ども達は、信篤三つ葉学園としての意識を持っていると感じます。

○部活動見学会については、小学生に見られているので、中学生は非常に張り切っていました。特に1年生からは、「来年は自分たちが先輩になるんだ」という意識がひしひしと感じられて、学校が活気づきました。このような取り組みを小中一貫教育としての子どもの成長に今後結び付けていくためには、継続が必要だと思います。子どもの変化は徐々に表れるので、目の前のすぐの反応を成長に結び付けるためには、どのようにしたらいいかを今後考えていく必要があります。

○今年、信篤小学校と二俣小学校の4年生同士で、クラスごとにオンラインで交流をしました。子ども達は楽しそうに画面越しで会話をしており、「実際に会いたくなった」という声もありましたので、実際に会う場面を今後作らねばならないと感じています。

【信篤三つ葉学園の成果と課題のとりまとめの概要について】

○成果と課題のとりまとめについて、課題を抽出する材料がまだ不十分に感じます。今後、様々な取組を通して、課題を出していかなければならないと思います。乗り入れ授業等の取組を見せていただけるのであれば、自分の目で見たいので、情報提供を頂きたいです。

○中一ギャップをなくすための取組はどんどん進めてほしいです。教科担任制を推進することについてデメリットがなく、メリットしかないと思います。

○会議資料を拝見し、中一ギャップは大きな課題だと思いました。小中連携の活動の中で、乗り入れ授業と部活動見学会は子ども達にとって大きな経験になると思いましたが、大きな成果を上げていると感じました。

○信篤三つ葉学園をどのようにしていきたいかということ子ども達から提案してもらい取り組めると、子ども達が地区を愛するようになるのではないのでしょうか。児童会と生徒会が一緒になって考えていくのも良いのではないかと思います。

報告 以下のことについて、市川市教育委員会より報告がありました。

(1) プロジェクト会議について

①【第10回プロジェクト会議（令和5年9月4日（月））主な会議内容】

- ・中学校教員による小学校への乗り入れ授業、部活動見学の実施について検討しました。

②【第11回プロジェクト会議（令和5年11月6日（月））主な会議内容】

- ・ブロック定例研、中学校教員による乗り入れ授業について検討しました。

(2) 児童生徒の取組について

①信篤三つ葉学園夏休みを迎える会（終業式）の実施（7月20日（木））

- ・1学期の終業式に信篤三つ葉学園夏休みを迎える会を実施しました。

②高谷中学校の部活動見学会の実施（9月29日（金））

- ・信篤小学校と二俣小学校の6年生を対象に高谷中学校の「部活動見学会」を実施しました。
- ・はじめに、高谷中学校の教頭先生より部活動見学会についての注意事項等の説明がありました。その後、各学校でグループごとに部活動見学を行いました。



【茶道部の見学の様子①】



【柔道部の見学の様子②】

【部活動見学会に参加した児童の感想】

- ・見学した部活動はどれも楽しそうでした。中学生になるのが楽しみです。
- ・中学生は、目標に向かって努力しているように見えました。私も中学生のようになりたいと思いました。

③中学校教員による小学校の「体育」の乗り入れ授業の実施（10月10日（火））

- ・高谷中学校の教頭先生が二俣小学校の5年生に「投力向上」の授業を行いました。



【授業の様子①】



【授業の様子②】

【授業に参加した児童の感想】

- ・ボールを投げるのが苦手だったけれど、色々な投げ方を教わり記録が伸びたのでうれしかったです。
- ・野球のコーチからも教わってないことを教えてもらえたので、すごく勉強になりました。

④高谷中学校の校長先生による「国語」の乗り入れ授業の実施（10月24日（火））

- ・高谷中学校の校長先生が二俣小学校の6年生に、国語の「話し合うこと」の力を身に付けさせることを目的として「哲学対話」の授業を行いました。

※哲学対話とは、対話の参加者が輪になって問いを出し合い、考えや感じたことを一緒に深めていく対話のあり方のこと。



【授業の様子①】



【授業の様子②】

【授業の様子】

- ・グループごとに話し合いたい問いを決め、自分で考えた後、対話を行いました。
- ・対話を通して、考えたことについて自分の考えを書いた後、授業の振り返りを全体で共有しました。
- ・6年生が活発に討議しており、答えのない問いに真摯に向き合っていました。

(3) ごみのポイ捨て防止啓発ポスターの作成について

- ・11月8日（水）に実施した合同学校運営協議会で、信篤三つ葉学園の児童生徒に、ごみのポイ捨て防止啓発ポスターを作成し、地域に掲示してはどうかとの提案がありました。
- ・ポスターの作成方法等については、12月4日（月）のプロジェクト会議で検討することを報告しました。

<次回の義務教育学校の設置に関する検討委員会の開催予定>

日程：令和6年2月17日（土） 場所：信篤公民館

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課

Tel:047-702-5355/Fax:047-383-9203